

障害のある学生の修学支援等のために製作・提供された 視覚障害者等用データに関するアンケート調査回答要領

(目的)

障害のある学生の修学支援等のために製作・提供された視覚障害者等用データの実態について把握し、今後必要となる対応策等を検討するため。

- 障害のある学生の修学支援等とは、障害のある学生への修学支援のほか、大学図書館等における障害を持つ教職員に対する支援も含む。
- 視覚障害者等とは、視覚障害者のほか、発達障害等で著作物を視覚的に認識できない者や肢体不自由等を含め、障害によって書籍を読むことが困難な者も含む。
- 視覚障害者等用データとは、著作権法第 37 条の権利制限規定などにに基づき、視覚障害その他の理由で通常の活字の印刷物の読書が困難な方（≒プリントディスプレイのある方）のために製作された電子データ（PDF、テキストデータ、DAISY（ダイジー）データ、点字データ等）をいう。

(対象)

各国公立大学・各公立短期大学の障害学生支援業務を行う部署（学生支援課、障害学生支援室、バリアフリー支援室等、名称は問わない）及び大学図書館。

(回答方法)

回答を記入した調査票データファイル（Excel）をメールに添付し、下記提出先まで送信してください。

- キャンパスが複数ある場合は 1 大学 1 回答にまとめてください。
- 大学内に短期大学部を有している場合は、大学（大学院を含む）と短期大学部の各 1 回答をお願いします。

(提出先)

文部科学省研究振興局参事官（情報担当）付学術基盤整備室大学図書館係

e-mail : jyogaku@mext.go.jp

- 回答のファイル名については、大学名_視覚障害者等用データアンケートとしてください。（例：文科大学_視覚障害者等用データアンケート）
- 送信メールのタイトルについては、(回答) 大学名_視覚障害者等用データアンケートとしてください。（例：(回答) 文科大学_視覚障害者等用データアンケート）

(提出期限)

平成 30 年 9 月 4 日（火）

(調査に関する問い合わせ先)

- 障害のある学生の修学支援に関する問い合わせについて
文部科学省高等教育局学生・留学生課厚生係
電話：03-5253-4111（内線 2519）
- 大学図書館に関する問い合わせについて
文部科学省研究振興局参事官（情報担当）付学術基盤整備室大学図書館係
電話：03-5253-4111（内線 4284）

障害のある学生の修学支援等のために製作・提供された
視覚障害者等用データに関するアンケート調査 調査票

(本調査の担当部署 (者))

大学名 (短期大学名) _____

① 障害学生支援業務を行う部署

担当者所属・職名 _____

担当者氏名 _____

電話 _____

e-mail _____

② 大学図書館

担当者所属・職名 _____

担当者氏名 _____

電話 _____

e-mail _____

(調査項目)

Q1. 障害学生支援室等及び大学図書館において視覚障害者等用データを保有していますか。

- ※ 購入、寄贈、製作等、入手方法・手段に関わらず視覚障害者等用データを保有している場合は、有と回答してください。
- ※ 有の場合、現在保有している点数とファイル形式別の内訳について記入してください。
- ※ 無の場合、その理由について記入してください。

有

無

ア. 障害学生支援室等で保有しているデータについて

現在_____点。

(ファイル形式別内訳)

・PDF： 現在_____点。

・テキスト： 現在_____点。

・デイジー： 現在_____点。

・点字データ： 現在_____点。

・その他： 現在_____点。

(その他のファイル形式： _____)

イ. 大学図書館で保有しているデータについて

現在_____点。

(ファイル形式別内訳)

- ・PDF： 現在_____点。
- ・テキスト： 現在_____点。
- ・デイジー： 現在_____点。
- ・点字データ：現在_____点。
- ・その他： 現在_____点。

(その他のファイル形式： _____)

無の理由 (自由記述) :

Q.2 これまで障害学生支援室等及び大学図書館において視覚障害者等用データの製作を行ったことがありますか。

※ 有の場合、Q3. から Q9. の設問について回答してください。

※ 無の場合、その理由について記入し、Q6. から Q9. の設問について回答してください。

- 有
- 無

無の理由 (自由記述) :

Q3. 大学図書館と障害学生支援室等における視覚障害者等用データの製作についての取組を記入してください。(複数回答可)

ア. 障害学生支援室等の取組について

- 資料の全頁のデータ化を行う
- 資料の一部のデータ化を行う
- 図書館資料のデータ化を行う
- 私物資料のデータ化を行う
- 授業用教材 (配布資料、レジュメ等) のデータ化を行う
- その他 (_____)

イ. 大学図書館の取組について

- 資料の全頁のデータ化を行う
 資料の一部のデータ化を行う
 図書館資料のデータ化を行う
 私物資料のデータ化を行う
 授業用教材（配布資料、レジュメ等）のデータ化を行う
 その他（ ）

Q.4 これまで障害学生支援室等及び大学図書館において製作した視覚障害者等用データの点数とファイル形式別の内訳、他機関と共有可能な点数についてそれぞれ記入してください。

※ 互いに協力し製作しているため分けて答えることが難しい場合は、どちらが主体的に製作しているかの視点で記入してください。

ア. 専ら障害学生支援室等で製作しているデータについて

(1) 資料の全頁をデータ化した点数及びファイル形式別内訳

現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点である。

(資料の全頁をデータ化した点数のファイル形式別内訳)

- ・PDF： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
 - ・テキスト： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
 - ・デジタイズ： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
 - ・点字データ： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
 - ・その他： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
- (その他のファイル形式：)

(2) 資料の全頁をデータ化した点数のうち、他機関と共有可能な点数

現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点である。

(資料の全頁をデータ化した点数のファイル形式別内訳)

- ・PDF： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
 - ・テキスト： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
 - ・デジタイズ： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
 - ・点字データ： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
 - ・その他： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
- (その他のファイル形式：)

(3) 資料の全頁をデータ化した点数のうち、他機関と共有できないデータがある場合は、

その理由について記入してください。

(自由記述) :

(4) 資料の一部をデータ化した点数及びファイル形式別内訳

現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点である。

(資料の一部をデータ化した点数のファイル形式別内訳)

- ・ P D F : 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
- ・ テキスト : 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
- ・ デイジー : 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
- ・ 点字データ : 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
- ・ その他 : 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。

(その他のファイル形式 : _____)

(5) 資料の一部をデータ化した点数のうち、他機関と共有可能な点数

現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点である。

(資料の一部をデータ化した点数のファイル形式別内訳)

- ・ P D F : 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
- ・ テキスト : 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
- ・ デイジー : 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
- ・ 点字データ : 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
- ・ その他 : 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。

(その他のファイル形式 : _____)

(6) 資料の一部をデータ化した点数のうち、他機関と共有できないデータがある場合は、その理由について記入してください。

(自由記述) :

イ. 専ら大学図書館で製作しているデータについて

(1) 資料の全頁をデータ化した点数及びファイル形式別内訳

現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点である。

(資料の全頁をデータ化した点数のファイル形式別内訳)

- ・PDF： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
 - ・テキスト： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
 - ・デジター： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
 - ・点字データ：現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
 - ・その他： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
- (その他のファイル形式：_____)

- (2) 資料の全頁をデータ化した点数のうち、他機関と共有可能な点数
現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点である。

(資料の全頁をデータ化した点数のファイル形式別内訳)

- ・PDF： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
 - ・テキスト： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
 - ・デジター： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
 - ・点字データ：現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
 - ・その他： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
- (その他のファイル形式：_____)

- (3)資料の全頁をデータ化した点数のうち、他機関と共有できないデータがある場合は、その理由について記入してください。

(自由記述)：

- (4)資料の一部をデータ化した点数及びファイル形式別内訳
現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点である。

(資料の一部をデータ化した点数のファイル形式別内訳)

- ・PDF： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
 - ・テキスト： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
 - ・デジター： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
 - ・点字データ：現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
 - ・その他： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
- (その他のファイル形式：_____)

- (5) 資料の一部をデータ化した点数のうち、他機関と共有可能な点数
現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点である。

(資料の一部をデータ化した点数のファイル形式別内訳)

- ・PDF： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
- ・テキスト： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。

- ・デイジー： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
- ・点字データ：現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
- ・その他： 現在_____点。そのうち、平成 29 年度の実績は_____点。
(その他のファイル形式: _____)

(6)資料の一部をデータ化した点数のうち、他機関と共有できないデータがある場合は、その理由について記入してください。

(自由記述):

Q5. 障害学生支援室等及び大学図書館において視覚障害者等用データを製作している場合、その運営体制についてそれぞれ記入してください。

- ※ (1)視覚障害者等用データの製作体制については、データ製作を業務の一部として実施している場合、何らかの製作に関わっていれば「1人」として算出し記入してください。
- ※ (2)年間あたりの費用については、データ製作を業務の一部として実施している場合、データ製作に係る割合（年間の作業時間等）による見込み額を算出し記入してください。

ア. 障害学生支援室等で製作しているデータに係る運営体制について

(1) 視覚障害者等用データの製作体制

- 常勤職員 (_____ 人)
- 非常勤職員 (TA(ティーチングアシスタント)等を含む) (_____ 人)
- 派遣・委託職員 (_____ 人)
- ボランティア (民間、学生等) (_____ 人)
- その他 (_____) (_____ 人)

(2) (1)に係る年間あたりの費用 (平成 29 年度実績) (※常勤職員を除く)

- 非常勤職員 (TA(ティーチングアシスタント)等を含む) (_____ 円)
- 派遣・委託職員 (_____ 円)
- ボランティア (※謝礼等) (_____ 円)
- その他 (_____) (_____ 円)

イ. 大学図書館で製作しているデータに係る運営体制について

(1) 視覚障害者等用データの製作体制

- 常勤職員 (_____ 人)
- 非常勤職員 (TA(ティーチングアシスタント)等を含む) (_____ 人)
- 派遣・委託職員 (_____ 人)
- ボランティア (民間、学生等) (_____ 人)
- その他 (_____) (_____ 人)

(2) (1)に係る年間あたりの費用（平成 29 年度実績）（※常勤職員を除く）

- 非常勤職員（TA(ティーチングアシスタント)等を含む) () (円)
- 派遣・委託職員 () (円)
- ボランティア（※謝礼等） () (円)
- その他 () () (円)

Q6. 昨年度来、障害者団体による要望を背景とした視覚障害者等の著作物へのアクセスを促進するための国内法整備に向けた検討が活発に議論されており、大学図書館に求められる機能として国立国会図書館等との連携による電子サービスの提供体制の強化が指摘されているところですが、各大学の障害学生支援室及び大学図書館において製作した視覚障害者等用データを全国で共有できる仕組みについての要望はありますか。なお、要望が有と回答された場合、今後の対応策について記入してください。

※ 学内外を問わず、各大学で製作した視覚障害者等用データを全国で共有できる仕組みについて、貴学の障害学生支援室等及び大学図書館に要望が有った場合は、「有」と記入してください。

- 有
- 無

今後の対応策（自由記述）：

Q7. 今後、大学と国立国会図書館が実施する視覚障害者等用データの収集及び送信サービスとの連携を促進するために国立国会図書館に期待することを記入してください。

※ 国立国会図書館視覚障害者等用データの収集及び送信サービスについて

国立国会図書館が製作した学術文献録音図書 DAISY データ等と、図書館等が製作し国立国会図書館が収集した視覚障害者等用データ（音声 DAISY データ、点字データ等）を、視覚障害者等個人の方や図書館等にインターネット経由で送信するサービス。

（参考）視覚障害者等用データの収集および送信サービス（国立国会図書館ホームページ）

<http://www.ndl.go.jp/jp/library/supportvisual/supportvisual-10.html>

（自由記述）：

Q8. 今後、大学と視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ図書館」との連携を促進するためにサピエ図書館に期待することを記入してください。

※ サピエ図書館について

視覚障害者及び視覚による表現の認識に障害のある方々に対して、点字・デージー図書のデータをはじめ暮らしに密着した地域・生活情報などさまざまな情報を提供するネットワーク。「サピエ」は、日本点字図書館がシステムを管理し、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営を行なっている。

(参考) 視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」(サピエホームページ)

<https://www.sapie.or.jp/>

(自由記述):

Q9. 視覚障害者等の著作物へのアクセスの促進に関して、ご意見等がありましたらご記入ください。

(自由記述):

設問は以上になります。

ご協力いただきありがとうございます。